

会誌「電力土木」のWEB化及びHPリニューアルについて

日頃より、電力土木技術協会の活動にご理解、ご協力を賜り、御礼申し上げます。

本号(2024年5月号)より、会誌「電力土木」が冊子からWEB閲覧に変わりました。また、協会のホームページ(以下、「HP」)もリニューアルをしております。

会誌「電力土木」は協会活動の柱であり、今回、冊子を取りやめ、WEB化に舵を切ること、は、協会にとって大きな転機であります。そこで、会員の皆様に、今回会誌WEB化に至った背景をご説明させていただきたいと存じます。

【会誌WEB化の背景】

① 会誌の充実やワークスタイルの変化への対応

かねてより、会員の皆様から会誌の充実について数々のご要望を賜っておりますが、多くの方からカラーで見やすい記事へのご要望をいただいております。

また、働き方についても、コロナの影響もあり、リモートワークやフリーアドレスが導入され、書類を持ち運ぶことが無くなりつつあります。世の中の多くのサービスにおいて、デジタル化により利便性の向上を図ろうとしております。

さらに、ペーパーレスは環境にも優しい取り組みという点も加味して、協会としては会誌のWEB化を検討して参りました。

② 協会経営の観点からの検討

電力土木技術協会においては、これまでも様々な改革を行いながら30年近く現在の会費を維持して参りましたが、経営的に厳しい状況が続いていることから更なる改革の必要性があり、令和4年1月より再生WGを設置し、経営健全化方策について議論を重ねてまいりました。

〈議論の方向性〉

経営健全性方策の検討に当たっては、協会事業の収支を事業ごとに分けて整理した上で、支出状況の分析を行いました。協会事業は、「a) 会費収入等による会員サービス事業である①会費財源事業(会誌発刊)および②実費徴収事業(イベント・講習会)」と、「b) 会員外からの費用徴収による収益拡大事業である③人材育成事業(水力発電技術人材育成研修等)と④受託事業」の大きく2つに分類され、各々で収支均衡化させることが健全な協会経営には必要であると整理いたしました。

このうち「b) 会員外からの費用徴収による収益拡大事業」については、年度によって事業収入が変化するが、事業収入に対する支出管理を明確化することで収支均衡化を実現することといたしました。一方、協会活動の主たる事業である「a) 会費収入等による会員サービス事業」についても収支均衡を図る必要性があり、そのうち収支影響の大きな「会誌作成事業費の改

善」に優先的に取り組むこととし、その具体的な対策として主に「会誌 WEB 化」等により会費財源事業の黒字化を目指すこととなりました。

以上、会誌の充実・利便性向上と収支改善の両方を実現すべく、令和 5 年 4 月より会誌 WEB 化タスクフォースを設置し、会誌「電力土木」の WEB 化に向けて具体的な対応内容を検討してまいりました。

■事業ごとに分けた収支状況整理(令和 4 年度)

	a) 会費収入等による会員サービス事業	b) 会員外からの費用徴収による収益拡大事業
	① 会費財源事業(会誌発刊) ② 実費徴収事業(イベント・講習会)	③ 人材育成事業(水力発電技術人材育成研修等) ④ 受託事業
収支状況	▲ 7 百万円	+ 0
健全化方策 (収支改善概算)	<ul style="list-style-type: none"> ・会費作成事業費の改善 →会誌 WEB 化 (4 百万円) ・その他収益向上 →法人会費増等 (3 百万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・支出管理の明確化 ・適正規模での実施

【HP リニューアルの概要】

今回、会誌「電力土木」の WEB 化にあわせて、会誌の充実並びに利便性の向上として、協会 HP をリニューアルいたしました。主な変更内容は以下の通りです。

〈主な HP 変更内容〉

- ・HP トップ画面の変更(会員・非会員によるサービスの明確化)
- ・会員様による「ログイン ID」「パスワード」の設定
- ・会員専用ページログイン保持の選択
- ・会誌「全文閲覧」並びに「個別検索」ページの利便性向上
- ・「よくあるご質問」の充実

〈会誌「電力土木」におけるその他変更内容〉

- ・会誌「電力土木」のカラー化
- ・目次からの記事リンク機能付加
- ・会誌「電力土木」新号発刊のお知らせメール

以上、会誌「電力土木」の WEB 化にあわせて変更を行いましたが、引き続き、会誌「電力土木」をはじめとする電力土木技術協会の活動が、会員の皆様にとってお役に立つよう、さらにサービスの向上に努めて参る所存ですので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上